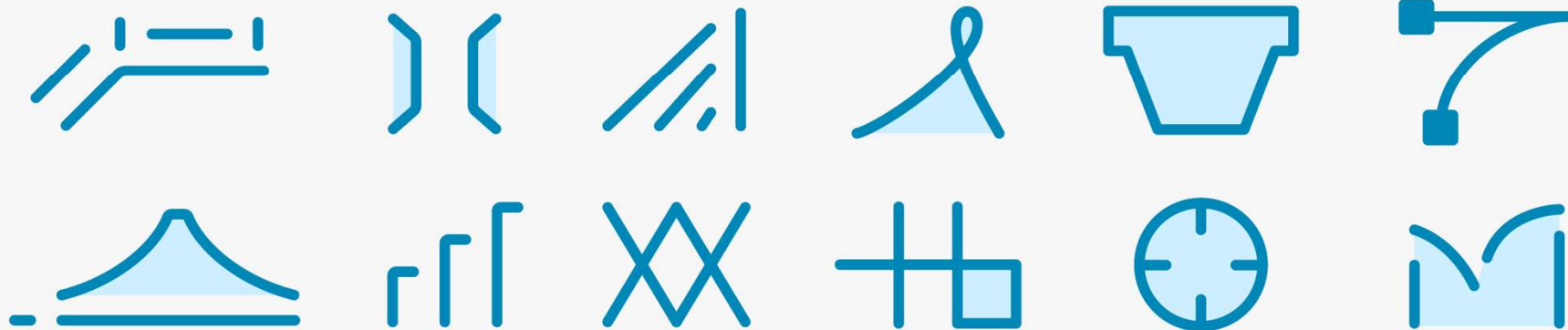


MIDAS CIVIL NX 2026 v2.1

リリースノート

INTEGRATED SOLUTION SYSTEM
FOR BRIDGE AND CIVIL STRUCTURES



Enhancements

拡張機能

■ Pre & Post-Processing

1. 耐震設計支援ファイルの読み込み
2. M-CONNECTOR V2

3

■ その他 - 不具合の修正

7

1. 耐震設計支援ファイルの読み込み

- 耐震設計支援ファイル(JT-KOHKA データ)を読み込む機能が追加されました。
- 本機能では、JT-KOHKAで固有値解析および時刻歴解析を実行した際に生成されるファイル (*.str、*.dat) を読み込むことができます。

①*.dat (解析制御データ)

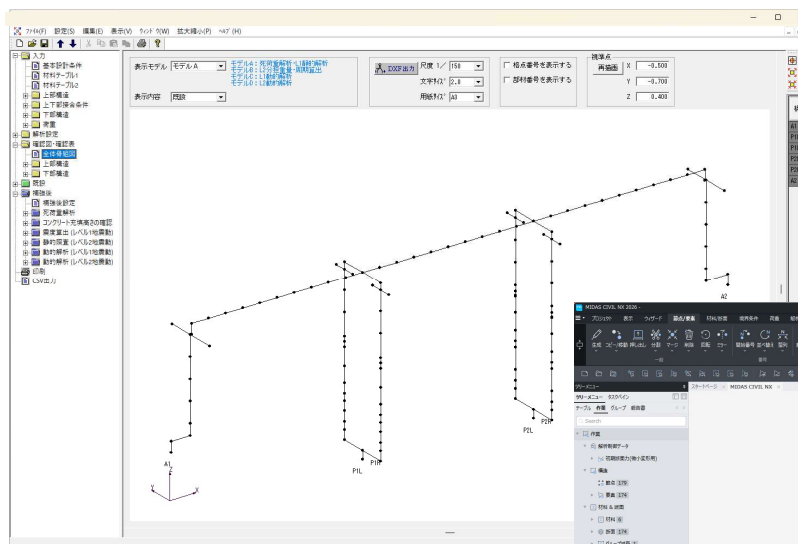
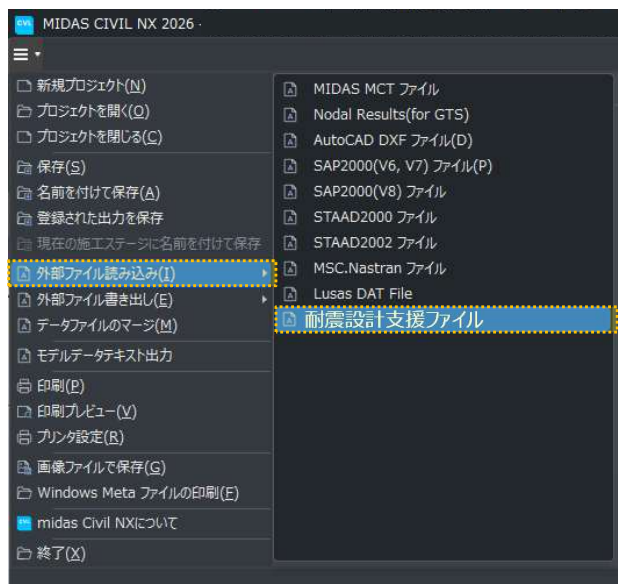
: 固有値、時刻歴解析の制御データ

②*.str (解析モデルデータ、必須)

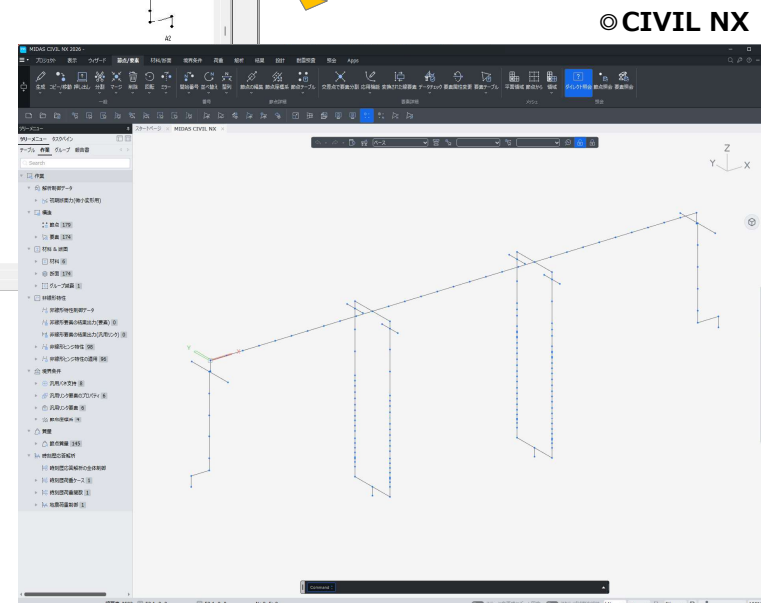
: 節点 / 要素 / バネ (2節点、1節点) / 連結 (多点拘束、剛結) / 材料 / プロパティ (梁、バネ) / 質量 / 曲げ非線形特性 / 減衰 / 初期断面力

外部ファイルの読み込み > 耐震設計支援ファイル

◎ 外部ファイルの読み込み



◎ JT-KOHKA



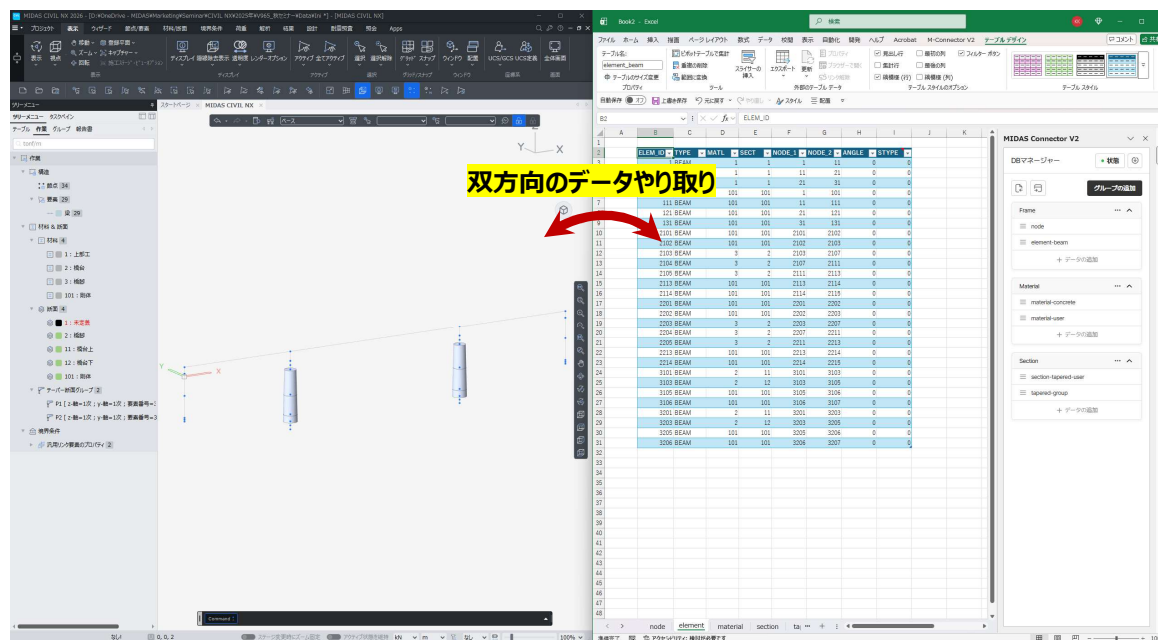
◎ CIVIL NX

2. M-CONNECTOR V2

- M-CONNECTORは、APIを介してCIVIL NXとExcel間のデータ連携を行うためのツールです。
- M-CONNECTOR V2は「結果テーブル」、「結果イメージ」、「DBマネージャー」で構成されています。
- 結果テーブルでは必要な解析結果をExcelに出力し、DBマネージャーではExcelで整理した解析データをCIVIL NXに送信することができます。
- DBマネージャーで対応可能なデータ種類は以下の通りで、今後も拡充していきます。
 - 要素：梁、トラス
 - 断面：DB, ユーザー、値入力 ※ 全てテーパータイプを含む
 - 材料：DBタイプ、直接入力タイプ
 - 支持・ばね：自由度拘束、節点バネ支持、弾性連結、汎用リンク
 - 荷重：荷重ケース、荷重組合せ、自重、節点荷重、はり要素荷重、節点質量
 - グループ：構造、荷重、境界



M-CONNECTOR V2



DBマネージャーを利用したデータ作成

◎ その他 - 不具合の修正

1. 格子計算における格子の形成エラー

：格子計算用の格子を形成するためには、主桁ラインおよび荷重ラインがすべての横桁と交差している必要があります。しかし、主桁と荷重ラインの間隔が小さい場合、格子を正しく形成できないケースが発生していたため、本不具合を修正しました。



2. 平面荷重のディスプレイ

：解析実行後に、平面荷重が正しく表示されない不具合を修正しました。

3. 鉄道橋の連行荷重の衝撃係数について

：「荷重 > 移動荷重タイプ > 衝撃係数」において衝撃係数を 0 に設定した場合でも、車線で定義された衝撃係数の自動計算式が適用されていたが、本修正により適用されないようにしました。

4. ファイバー断面定義のプログラム強制終了

：ファイバー断面定義後、オブジェクト選択時にエラーが発生し、プログラムが強制終了する不具合を修正しました。

5. 材料規格を「なし (None) 」に設定した場合の材料定数変更エラー

：材料テーブルで材料規格を「なし (None) 」に設定した状態で材料定数を変更するとエラーが表示され、変更できない不具合を修正しました。

6. 鉄道橋移動荷重における解析中断

：鉄道橋基準 (Japan Railway) の移動荷重において、車両荷重の分配方法を「横梁」に設定すると解析が途中で中断される不具合を修正しました。